

令和2年度復興情報発信ポスター及び動画について

【要旨】

県は、「東日本大震災から10年 記憶と教訓を未来の力に。」をテーマとした県外向けのポスター（4種類）及び動画（2種類）を制作し、下記のとおり首都圏等で展開します。

2月17日（水）から、岩手県特設サイト「いわてとあなたが、つながるページ」及び「岩手県公式動画チャンネル」（YouTube）などで公開します。

1 ねらい

東日本大震災津波から10年を迎える今年、復興の歩みを進める岩手の今を伝え続けることで、震災を風化させず、復興への継続的な支援につなげる。

2 ポスター・動画の内容

(1) ポスターと動画で展開するもの（2種類）

	団体等及びポスター・動画の内容	ポスターデザイン
1	<p>祈り - 震災遺構 - (陸前高田市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 震災から10年の「祈り」をテーマに制作。 ○ ポスターは、高田松原復興祈念公園内で慰霊と復興の象徴として立つ現在の奇跡の一本松の姿を通して、追悼の思いを表現。 ○ 動画は、広田地区にある漂流ポストに届いた手紙を読んだ高校生が現在の震災遺構をたどり、震災を風化させない決意を表現。 	 <p>震災を伝え続けることが、私たちの祈り。</p> <p>2011年3月11日、あの日、岩手を襲った地震と津波によって、多くの命が奪われ、岩手県は莫大な被害を受けました。私たちが随分経てたのは、奇跡的に残った一本松の姿。あれから、10年、一本松は復興のシンボルとなり、この地を訪れる人に忘れてはならない大切なメッセージを伝えています。</p> <p>東日本大震災から10年 記憶と教訓を 未来の力に。</p> <p>岩手県</p>
2	<p>いわての学び希望基金 (一戸町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復興から「未来への力」をテーマに制作 ○ ポスターは、基金の支援を受け、現在はいわて子どもの森で働く小野寺三穂さん（釜石市出身）と子どもたちの姿を通じて、支援が未来へつながっている様子を表現。 ○ 動画は、父親と祖父母を亡くした小野寺三穂さんの震災や基金に対する思いを通して、復興支援していただいた方への感謝を表現。 	 <p>震災で親を亡くした子どもたちを支援するために設けられた「いわての学び希望基金」の支援を受けた釜石市出身の小野寺三穂さんは、「いわて子どもの森」で子どもたちに夢を託しています。大切な父と祖父母を亡くした彼女は、震災を人生の糧に受け入れ、自分なりに向き合っています。「感謝が、私の力です。自分らしくやりたいことをやっています。生きていくのが嬉しいです。これからも頑張ります。」</p> <p>自分らしい生き方を見つけることが、私たちの「ありがとう」です。</p> <p>東日本大震災から10年 記憶と教訓を 未来の力に。</p> <p>岩手県</p>

令和2年度「岩手県復興ポスター展」の開催について

東日本大震災津波から10年を迎えるに当たり、復興の歩みを進める被災地の姿を発信するポスターを展示する「岩手県復興ポスター展」を県内外で開催します。ポスター展は、2月22日(月)から3月19日(金)の間、趣旨に御賛同いただいた地方自治体など県内外の153か所で開催する予定です。

1 期間

2月22日(月)から3月19日(金)のうち、趣旨に賛同いただいた地方自治体等で実施可能な期間

2 掲示予定場所 (57 団体・153 箇所)

(1) 県内 (41 団体・118 箇所)

県関係施設 (県庁県民室、広域振興局、アイーナ、いわて花巻空港等)、市町村庁舎及び観光施設等、マリオス、盛岡駅、県と包括連携協定を結ぶ企業社屋 等

(2) 県外 (16 団体・35 箇所)

岩手県のアンテナショップ及び趣旨に賛同いただいた自治体の公共施設 (北海道、東京都、石川県、山梨県、静岡県、三重県、静岡市、大阪市、沖縄県うるま市) 等

3 掲示するポスター

平成27年度以降に制作したポスター33種類 (B2縦11種類、B3横22種類) の中から、各展示場所の状況に応じて展示。

4 参考

- (1) 岩手県復興ポスター展は平成26年度から開催。
- (2) 昨年度の開催実績は、次のとおり。

	実施団体	実施箇所
県内	35	53
県外	20	46
合計	55	99



昨年度のポスター展の様子
盛岡駅わんこロード